



まるごと博物館を歩く(2)

先月は市役所から勝山城までのコースを紹介しましたが、今月は城下町谷村を歩いてみましょう。

① 谷村陣屋跡

谷村第一小学校前から国道までの通りは大手通りと呼ばれていますが、かつて谷村城の大手（表門）がここに置かれていたことからその名が起きましたといわれています。秋元氏が川越に転封の後、谷村城は廢城となり、秋元氏の家老高山源五郎家の屋敷（現在の裁判所敷地）に谷村陣屋が設けられ、伊豆蘿山の江川太郎左衛門や馬鈴薯の普及に努めた中井清太夫など歴代官によつて郡内の政治が行われました。また、ここには谷村第一小学校の前身となつた谷村興譲館が設けられました。現在、道路脇に「谷村陣屋跡」の石碑が建てられています。



円通院

城内でした。また、明治三十六年に家中川の水を利用して出力七〇ワットの三の丸発電所が建設され、昭和二十八年まで稼働していました。

③ 西涼寺

寺町通りの一番大月よりにあるのが浄土宗古今山西涼寺で、境内には儀秀稻荷社が祀られています。この儀秀稻荷社は秋元喬知の法名

其進の墓（市指定史跡）があります。

⑤ 東漸寺

専念寺のとなりが日蓮宗大法山東漸寺で、本堂脇には秋元氏の家臣高山家の墓石（市指定史跡）が祀られています。

⑥ 円通院

曹洞宗大慈山円通院といい、貞享三年に高山甚五兵衛朝繁が母親の三十三回忌の供養のために寄進した梵鐘（市指定有形文化財）や、江戸時代から家中川にかけられていた五石橋（市指定史跡）など多くの文化財が現存しています。また、近年、無縁仏となつていて秋元家臣の墓石が発掘され整備されています。



東漸寺

ふるさと会館前に、茶壺道中の碑が建立されています。江戸時代徳川将軍家は、毎年宇治から茶を取り寄せましたが、その一部を夏の暑い間涼しい谷村の勝山城内の茶壺蔵に保管していましたことにちなんで、建設されたものです。ふるさと会館二階には、都留市出身の画家増田誠画伯の作品を保管展示する増田誠美術館があります。

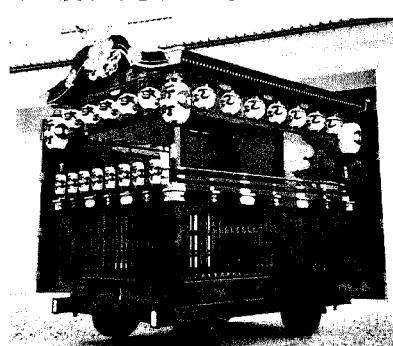
今回は、裁判所から家中川に沿って下り、寺町通りを西涼寺からふるさと会館にいたるコースを紹介しました。

社会教育課 文化振興係

屋台の大きさは下町屋台とほぼ同じですが、装飾や彫物、形状などにその違いが見られます。3年の歳月をかけて、見事に昔の姿がよみがえりました。これで復元の終了した屋台

新町屋台が完成しました

平成8年から岐阜県高山市の「高山屋台保存技術協同組合」により復元をすすめていた新町屋台が、都留市に戻ってきました。



は、早馬町、下町に続いて3台目となり、八朔祭はいよいよ華やかになること期待されます。

各屋台は新町の「八朔祭屋台展示庫」に展示されていますので、ぜひご覧ください。